

東京→広島県呉市豊町

トム宮川コールトンさんの場合 Part2

総務企画部 広報・情報システム室

TEL 082-224-5618

このコーナーでは、東京や大阪などの都会から、地方に移住し、充実した生活を送っておられる方をご紹介します。

連載第8回は、東京から呉市豊町の大崎下島、御手洗地区に移住され、「トムの写真館」を開業された、トム宮川コールトンさん（以下、「トムさん」）にお話を伺いました。

トムさんは1981年生まれで35才のドキュメンタリー写真家&ライター。英国人の父親と日本人の母親を持ち、東京に生まれ、6才まで日本に住んでいました。

英国の大学を卒業後、会社に就職したのですが、一転、カメラマンを目指し、米国の農家を題材にしたノンフィクション作品「オーガニック・アメリカンズ」が評価され、2010年に「名取洋之介写真賞」を受賞されています。

英国から東京に居を移し活動されていたのですが、ご結婚を機に奥様とともに大崎下島に移住し「トムの写真館」をオープンされました。

後半の今回では、トムさんのこれまでの取り組みや移住される方々へのアドバイス、そして今後の方向性などをお聞きしました。

Part1 を見られていない方は、[旬レポ中国地域 平成29年2月号『トム宮川コールトンさんの場合 Part1』](#)をご覧ください。



海外向けコンテンツ制作の会社を設立

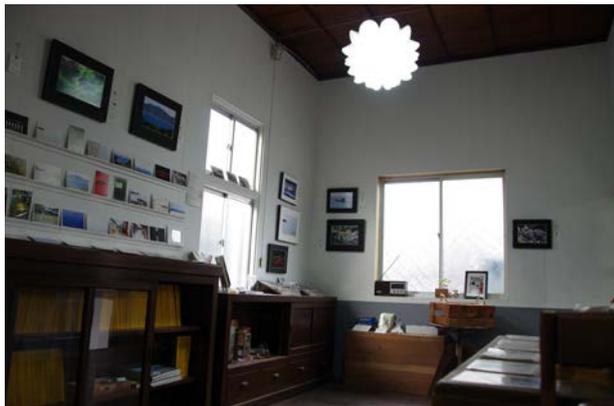
— 写真館とは別に会社を設立されている。

「アイランド・ピクチャーズ合同会社」といって、2016年夏に設立しました。この会社にはもう一

人、東京にいる板倉さんという映像カメラマンがいます。彼とは以前から何回か関わりがあって、映像と写真と記事のライティングでコンテンツ製作を、と思って作ったのがこの会社です。

―― 本社は、御手洗にあるのでしょうか？

はい、御手洗の写真館になります。板倉さんは基本的に東京をベースに動いています。会える時には直接会うようにしますが、他にスカイプや電話で打合せをしています。



写真や商品のならんだトムの写真館内

―― 会社のテーマはどのようなものでしょう？

日本の情報をできるだけ外国向けに発信していくことです。もともとこの会社を作ったきっかけが、自治体からのそういった依頼があったからですが、そういったニーズがあるように感じました。例えば地域の映像を外国人向けとか観光客向けに製作するといった仕事をしています。

柔軟性が少しあったほうがいいことも

―― これから移住する人たちへアドバイスがあれば教えてください。

その地域の決まりとかがあるので、それを少し意識しながら生活したほうがいいと思います。ここでも島の中に大長、御手洗などそれぞれの地区によって、かなり特徴や雰囲気違いますし、スタイルも違います。

また、「移住したら、これをやりたい」といった目的が決まった状態で移住する人は、柔軟性が少しあったほうがいいと思います。その場所で何ができるか、どういう可能性があるかというのは、その場所に住んでみないと本当にはわからない。外からでは絶対わからないと思います。

私たち夫婦は、移住する前にいろいろなアイデアを考えて、適当に「こういう可能性があったらいいね」という感じでこの島に来ました。そして島に住んでいるうちに、これは可能、これはちょっと難しいというふうに徐々に考え直していきました。

そういった柔軟性がないと、恐らく移住した後にストレスになるかもしれません。



御手洗地区の町並みを歩く

今後の取り組み・やってみたいこと

――最後に今後の方向性など教えてください。

今後は、写真と映像の制作以外に、全体のプロジェクトのコーディネートに集中していこうと考えています。今もいくつかのプロジェクトで弊社と連携している多言語のライターさんをコーディネートしています。

――初めての場所はかなり取材が必要ですか？

広島自体も来たばかりで、どこもいつも新鮮です。読者は日本に興味がある外国人ですから、そういうことを意識しながら製作しています。日本人と外国人では、紹介する内容が異なります。

例えば、日本人でしたら「坂本竜馬」はみんな当然知っていると思いますが、ところが外国人は、おそらく「坂本竜馬」自体をみんな知らない。だから、その部分には集中しないで、外国人に響きそうな部分について紹介します。



御手洗地区の町並みに飾られた花差し

――どのようなところが響きますか？

そうですね、このあたりなら、御手洗地区という場所の歴史的な重要さや風景の美しさでしょうか。例えば呉市蒲刈町に県民の浜という砂浜がありますが、そのレビューを英語でウェブサイトに掲載したのですが、一番ヒット数が多い。

それはなぜかという、外国、特にヨーロッパの方はとてもビーチホリデーが好きなんです。しかし、広島と宮島はみんな行くのですが、広島に沖縄のようなきれいなビーチがあるというのを想像もしていないのではないかと思います。それをもう少しアピールできれば、外国からの観光客を増やすことができるかもしれません。

――写真館とコンテンツ制作の事業、両立するのは一人だと難しいですね。

あと一年で、奥さんの地域おこし協力隊の任期が終わります。その後、二人で写真館を頑張りながら、私も海外向けのコンテンツ制作も頑張っていきたいと思っています。



写真館には写真以外の商品も

.....

2回にわたってご紹介した、トムさんのお話はいかがでしたでしょうか。

トムさんは写真館でゆったりとした時間を過ごされているのでは、という当初の勝手な思い込みは全くの勘違いでした。

国や各自治体は今後さらに観光に力をいれてゆくことと思いますので、海外向けコンテンツ制作でトムさんはますます忙しくなるのではないのでしょうか。

この写真館を核としたトムさんと奥様のご活躍が、さらに地区の活性化につながってゆくことと思います。

○[アイランド ピクチャーズ合同会社\(Island Pictures, LLC.\)](https://www.facebook.com/islandpicturesjapan/)

- [Facebook](https://www.facebook.com/islandpicturesjapan/) <https://www.facebook.com/islandpicturesjapan/>

